

# 軽井沢町と嬭恋村における浅間山噴火に対する 対応状況の比較

齊藤伊織

本調査は、長野県と群馬県にまたがる浅間山周辺地域、特に軽井沢町と嬭恋村を対象に、質問紙調査を実施し、各町村の噴火に対する防災対応力を数値化して現状を把握するとともに、防災力の程度の差に影響を与える要因を明らかにすることを目的としている。この地域を対象とした理由は、浅間山火山災害の直接的な影響を受ける可能性が高い一方で、地域特性や過去の災害経験が異なり、防災対応力やその背景要因を比較分析するのに適しているからである。

調査結果から、防災対応力を決定づける要因として、浅間山周辺の自治体間および関連団体間の協力体制や噴火リスクに対する認識の重要性が明らかになった。また、地理的条件、過去の噴火頻度、被害想定地域の有無が、防災対応力に大きな影響を与えることが示された。これらの結果は、防災対策が個々の自治体単位の取り組みに留まらず、広域的な協力や調整が必要であることを示している。